

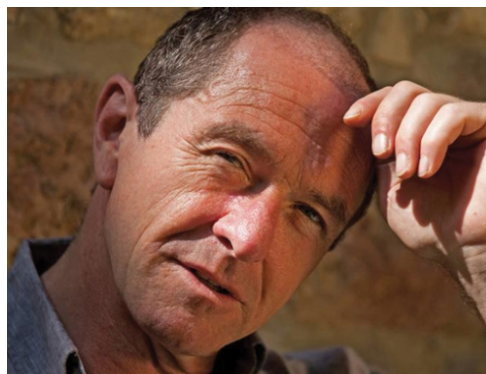
ベーシックインカム（BI）の概念を広めたことで世界的に知られる

スイスの賢人 エノ・シュミット氏 来沖記念 交流会開催決定！

■エノ・シュミット

12万人の署名を集めて、スイスでベーシックインカム(BI)導入の是非を問う国民投票を実施した。

彼が製作した映画や講演会、世界的に注目された国民投票を通して、BIの概念は世界中の人々に認知されつつある。



Enno Schmidt

■ベーシックインカム(BI)

すべての国民に、生活に必要なお金を無条件支給する制度。

福祉にかかる総コストを削減し、不公平感を是正し、誰もが自分らしく生きることができる社会の仕組みとして期待される。

フィンランドではすでに試験導入が始まっている。

シュミットさんとの交流（通訳つき）を通して
自分らしく豊かに生きていく方法を
一緒に考えてみませんか？

■ スケジュール ■

4/25(火) シュミットさんと市民の交流会

*参加ご希望の方はメールにてお申込みください

ところ Bookcafe&Hall ゆかるひ

那覇市久茂地 3-4-10 YAKAビル3F

じかん 午後の会 15:00-17:00

夜の会 19:00-21:00

ひよう 1000円 + ワンドリンクオーダー

*お弁当(500円)のご予約も承ります。

4/26(水) 辺野古ゲート前~基地問題の現実を世界に知ってもらいたい！

シュミットさんと市民の交流会@沖縄

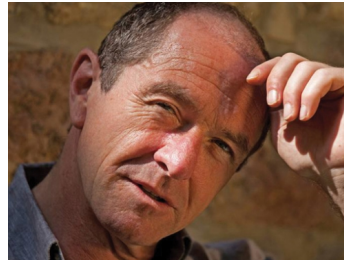
お申込み・お問合せ miyae330@gmail.com (担当: カミオカ)

■エノ・シュミット Enno Schmidt

12万人の署名を集めて、スイスでベーシックインカム(BI)の導入是非を問う国民投票を実施した立役者。ベーシックインカム導入は否決されたものの、2016年6月に行われた国民投票それ自体が世界中から注目され、ベーシックインカムの概念が認知されるようになっていった。

社会を良くしていこうという意識をもって意味をとらえ直し、思考を深めることこそが民主主義。

民主主義のプロセスとは新しい視座を得ることでもあるんだ。賛成か反対かだけを表明するものではないんだよ。



Enno Schmidt

ベーシックインカムをめぐるアイデアや視点、世界観などが日々更新されていく喜びが、生きることそのものなんだ。

民主主義を成熟させる作業を怠ったらすぐに独裁的なマフィア国家になってしまう。民主主義は放ったらかしにはできないんだよ。

エノ・シュミットさんが取り組んでいる「ベーシックインカム」とは？

■ベーシックインカム(BI)とは

すべての国民に、生活に必要なお金を無条件支給する制度。福祉にかかる総コストを削減し、不公平感を是正し、誰もが自分らしく生きられる社会の仕組みとして期待される。

■ベーシックインカム(BI)の財源

財源についての議論も始まったばかりであるが、通貨発行権問題について理解が進めば、ベーシックインカムの財源は「政府が発行する商品券」で事足りる、すなわち増税は不要であることが認識されるであろう。

■ベーシックインカム(BI)をめぐる世界情勢

フィンランドでは2017年1月からBIの試験導入が始まっており、オランダ、カナダ、スコットランドも試験導入開始予定。フランスでは次期大統領候補がBI推進派。イギリスでも歴史ある政党がBIを支持し始めている。台湾や韓国でもBI推進派の政党が台頭しつつある。

日本とスイスの違いについて

■国民発議権と国民投票～直接民主制の国・スイス

スイスでは、憲法、法律、社会システムの改正をしたいと思ったとき、18ヶ月間に10万筆の署名を集めれば、その議題を「国民投票」に問える。国民が国民投票を主導できる権利を「国民発議権」という。直接民主制を実行するために不可欠な制度である。

■日本をはじめ、多くの国では間接民主制(=選挙)を採用している。

スイスでは、1848年から今までに600回を超える国民投票が行われているのに対し、日本はゼロ回。日本には国民が発案した議題を「国民投票に問う」という制度がないからである。シュミット氏はドイツ人だが、直接民主制の国スイスへ拠点を移して活動している。